

《令和4年度 教育委員会事務局 組織目標》

◆目標管理者

部長	増田 高志
理事	菊池 誠

◆部局の役割・目標像

草津市教育振興基本計画の基本理念「子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ」の実現に向けて、次の4つの基本方向に基づき、全国に誇れる実践を重ね、本市の教育のさらなる向上を目指します。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策により、児童生徒および教職員が安心して過ごすことのできる学校環境づくりに引き続き努めてまいります。

◆子どもの生きる力を育みます

- ・いじめを根絶する取組を推進します。
- ・子どもの健やかな体づくりを推進します。
- ・ICTを活用した教育を推進します。
- ・基礎学力向上のための取組の充実を図ります。
- ・英語教育を推進します。

◆学校の教育力を高めます

- ・配慮を要する子どもへの支援体制の充実を図ります。
- ・学校等の施設・設備の整備を推進します。

◆社会全体で学びを進めます

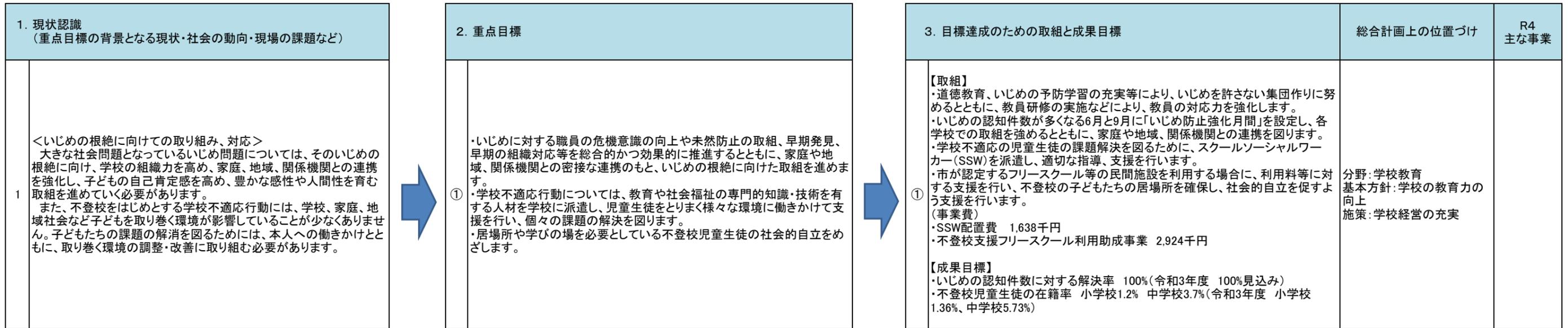
- ・地域協働学校の推進を図ります。
- ・市民の生涯スポーツ活動を支援します。
- ・社会体育施設の整備・充実を図ります。
- ・第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会を推進します。

◆歴史と文化を守り育てます

- ・文化・芸術の振興を図ります。
- ・文化財の調査と保護を推進します。
- ・歴史資産を生かしたまちづくりを推進します。

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)				当初予算規模(千円)		
	正規	再任用	会計年度	合計	歳出 (職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	6	0	0	6	-	-	-
教育総務課	8	0	3	11	1,524,897	517,615	1,007,282
学校給食センター	2	0	2	4	632,204	385,922	246,282
第二学校給食センター	2	0	1	3	379,678	198,723	180,955
生涯学習課	8	0	2	10	334,955	114,199	220,756
スポーツ推進課	3	0	1	4	343,338	215,048	128,290
スポーツ大会推進室	3	0	1	4	25,851	0	25,851
歴史文化財課	6	1	2	9	141,764	103,212	38,552
草津宿街道交流館	3	1	8	12	48,956	24,321	24,635
図書館	5	0	15	20	88,610	836	87,774
南草津図書館	3	1	11	15	61,627	48	61,579
学校教育課	10	0	3	13	292,254	23,653	268,601
児童生徒支援課	8	0	1	9	194,337	19,085	175,252
学校政策推進課	5	0	2	7	166,290	6,655	159,635
教育研究所	3	0	7	10	35,887	2,731	33,156
合計	75	3	59	137	4,270,648	1,612,048	2,658,600



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R4 主な事業
<p>2 <健やかな体づくりの推進></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度からの体力向上プロジェクトにより、体力得点が上昇傾向であり、全国平均点に迫るもしくは上回るまで上昇傾向でありましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全国の傾向と同様に低下傾向となりました。 小学生においては、「運動が好き、体育の授業が楽しい」と思えるよう授業の改善や体力の向上につながるような取組が必要です。 中学生においては、部活動など本格的にスポーツを行う機会が増え、けがが増加するため、スポーツ傷害予防に取り組む必要があります。 	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 立命館大学と連携し、児童生徒が運動する機会や環境の充実のための効果的な取組を行うとともに、短時間運動プログラム(草津市チャレンジタイム)の推進や教科体育の授業改善、スポーツ傷害予防講座等の実施により児童生徒の体力向上に取り組めます。 小中学校体力向上プロジェクト第3期計画(令和3年度～令和5年度)により、引き続き体力向上に取り組むとともに、「運動が好き、体育の授業が楽しい」につながる授業改善に向けて、第3期の計画の推進に取り組めます。 	<p>②</p> <p>【取組】</p> <p>コロナ禍の影響により、児童生徒の体力は全国的に低下傾向にありますが、小中学校で体力向上プロジェクトに取り組み、「運動をすることが好き、体育の授業が楽しい」につながる授業改善を進めるとともに、効果の高い短時間運動プログラムの実施を通じて、子どもたちの体力向上に取り組めます。また、「運動をすることが好き、体育の授業が楽しい」と思う子どもの割合が上がることを目指して取り組んでいきます。</p> <p>(事業費)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校体力向上プロジェクト事業 525千円 中学校体力向上プロジェクト事業 330千円 <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新体力テストの成績(小学5年生) 男女とも全国平均点を上回る。 令和3年度(男子52.1、女子53.2) 全国(男子52.5、女子54.6) 運動をすることが好きな子どもの割合(小学5年生) 男女とも全国平均割合を上回る。 令和3年度(男子68.3、女子49.0) 全国(男子67.9、女子53.1) 	<p>分野: 学校教育 基本方針: 子どもの生きる力を育む教育の推進 施策: 豊かな心と健やかな体の育成</p>	
<p>3 <安全・安心でおいしい学校給食の提供></p> <p>学校給食を通して、子どもの健やかな成長を助け、食育と地産地消の推進を図ることが必要になっています。</p>	<p>③ 安全・安心でおいしい学校給食を提供します。</p>	<p>③</p> <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点項目として「和食の推進、啓発」、「減塩献立」、「手作り献立」、「同一アレルギー1日1品目まで」に取り組めます。 献立に行事食等を取り入れ、給食を通じて食の大切さを学びます。 地場産物を活用して、生産者や食への感謝、新鮮で安全な食材の確保とともに、地域農産物等の利用拡大を図ります。 <p>【成果目標】</p> <p>地産地消率 県内産活用率40%(令和3年度38.8%)</p>	<p>分野: 学校教育 基本方針: 子どもの生きる力を育む教育の推進 施策: 豊かな心と健やかな体の育成</p>	
<p>4 <学校ICT教育の推進></p> <p>Society5.0時代を生きる子どもたちにとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術等の主体的な活用が求められています。そのため、1人1台の端末を、いつどのように使うかを自分で考え、文房具として活用できる力が必要となり、主体的・対話的で深い学びを実現するため、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に行う「New草津型アクティブ・ラーニング」を推進することで、確かな学力の育成に向け、ICTを活用した効果的な指導を充実させる必要があります。</p> <p>さらに、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においてもICTの活用により、全ての子どもたちに学びを保障できるように、教員のスキルアップを図る必要があります。</p>	<p>④</p> <p>New草津型アクティブ・ラーニングでは、「1人1台端末」を活用することで、個別最適化された学びを進め、アナログとデジタルを融合させたハイブリッドな学習により、主体的・対話的な授業となるよう改善を図り、学力の向上を目指します。</p>	<p>④</p> <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> New草津型アクティブ・ラーニングの推進について、教育委員会主催の研修会や学校訪問で周知・啓発を行い、全ての教員がその趣旨を理解し、1人1台端末を効果的に活用する授業を実践できるよう支援します。 校内研究授業や教科等部会別研修会の研究授業でのICT活用を促し、各教科等の特性を生かしたICTの効果的な活用方法を研究を推進します。 New草津型アクティブ・ラーニングの推進について研究を行い、研究結果の公表を行って効果を市内全校へ普及させることを目的として、研究校を指定します。 学習者用デジタル教科書について、効果的な活用方法を調査・研究し、より効果的な活用を目指した授業研究を支援します。また、習熟度・理解度に合わせて活用することができる教材として、特別支援学級児童生徒にどのような学習者用デジタル教科書が適切であるか調査研究を進めます。 <p>(事業費)</p> <ul style="list-style-type: none"> New草津型アクティブ・ラーニング実践支援事業費 300千円 <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う児童生徒95%以上(令和3年度: 94.7%) (全国学力学習状況調査) 児童生徒アンケート「電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすい」肯定的回答95%以上(令和3年度: 91.5%) 	<p>分野: 学校教育 基本方針: 子どもの生きる力を育む教育の推進 施策: 確かな学力の育成</p>	<p>①未来を担う子ども育成プロジェクト</p>
<p>5 <スクールESDくさつ></p> <p>子ども達が持続可能な社会の担い手としての資質・能力を育成することをめざした教育活動を通じて、身近な地域から行動を開始し、学びを実生活や社会につなげ、地域社会の一員としての意識と行動力を身に付けていく必要があります。</p>	<p>⑤</p> <p>「スクールESDくさつ」プロジェクトを実施し、環境、健康、福祉、人権、産業、歴史・文化など様々な地域課題を体験的な学びを通して、その解決に子どもたちが主体的にかかわり、地域社会の一員としての意識と行動力を身に付けることを目指します。</p>	<p>⑤</p> <p>【取組】</p> <p>「スクールESDくさつ」を推進するにあたり、ESDカレンダーの作成支援、モデル校3校での実践と検証、報告会を行います。</p> <p>(事業費 4,985千円)</p> <p>【成果目標】</p> <p>「総合的な学習の時間では、課題について調べたり、まとめたりするとともに、課題解決の方法を提案したり、発信したりする活動に取り組んでいる。」と肯定的に回答した児童生徒の割合が、小学校平均75%以上、中学校平均70%以上(令和3年度 小73.9%、中69.4%)。</p>	<p>分野: 学校教育 基本方針: 子どもの生きる力を育む教育の推進 施策: 確かな学力の育成</p>	<p>①未来を担う子ども育成プロジェクト</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R4 主な事業								
<p>6 <学びの基礎となる読みの力の定着> 市内小学校において、1年生の段階で、学習の基本となるひらがなの読み書きにつまずいている児童が一定数います。1年生時のつまずきは、高学年段階での学習困難の大きな要因となっていることから、低学年の早い段階から効果的な指導・支援を行う必要があります。</p> <p>また、文章を素早く正確に読む力は「読解力」の向上につながり、効果的な「読み」の指導を早期から継続的に行うことが、学力向上につながります。</p> <p>これらのことから、読みにつまずく児童を、1年生のうちに早期発見し、具体的かつ効果的な支援を即時行う必要があります。</p>	<p>⑥ 年間を通して定期的なアセスメントを行い、学習につまずく児童を早期発見するとともに、科学的根拠のあるアセスメント結果に基づく、効果的な指導・支援を行います。</p> <p>・1年生の国語科の授業において、科学的根拠のある「読み」の指導を継続的にを行い、学力の基盤となる読みの力の向上を図ります。</p> <p>・取組の実践、成果を広く公開・発信し、保護者・教職員等の理解・協力を得るとともに、全14小学校での実施に向け事業拡大をめざします。</p>	<p>⑥ 【取組】 1年生学級の国語科の授業において、児童の読みの力を分析・把握し、タブレットPCを活用し、一人一人の課題に応じ、多層指導モデル(MIM)による「読み」の指導を年間を通して行います。 (事業費) 小1学びの基礎育成事業 885千円</p> <p>【成果目標】 1年生の指導終了時に読みにつまずく児童の割合8%以下 ※アセスメント結果のうち、3rdステージ対象児童の割合 (令和3年度 22.7%)</p>	<p>分野:学校教育 基本方針:子どもの生きる力を育む教育の推進 施策:確かな学力の育成</p>									
<p>7 <英語教育の推進> ・新学習指導要領に基づき、小学校5、6年の教科化、3、4年の外国語活動実施、中学校英語科の高度化に向けて指導体制の拡充・強化が必要であり、令和2年3月に策定した「草津市英語教育ステップアッププラン」に基づいて、市内の小・中学校で計画的に授業内容の充実を図る必要があります。</p> <p>・本市が目指す英語教育「急速にグローバル化する社会において、自らの考えや意見、情報を積極的に発信し、他者と主体性を持って英語でコミュニケーションができる力を育成する」とし、小・中学校の円滑な接続を図るため、子どもの言語活動の充実を目指した英語教育を推進していく必要があります。</p>	<p>⑦ 教員の英語力、指導力の向上や、英語を用いたコミュニケーション活動の充実を図るとともに、小学校から中学校への接続を図った「草津市小中一貫英語教育カリキュラム(草津市版CAN-DOリスト)」の研究実践・検証に取り組み、新学習指導要領に基づく、新しい英語教育を進めます。</p>	<p>⑦ 【取組】 ・同一中学校区内の小・中学校の連携を重視し、小・中学校の円滑な接続と連携を図れるようにします。 ・小学校3年生から中学校3年生までの系統性を考慮した「草津版CAN-DOリスト」を評価基準とし、具体的な授業モデルとして「草津型CAN-DOプラン(草津市小中一貫英語カリキュラム)」を作成し、連続性をもった教育を実施します。 ・3名のALTが全小・中学校へ巡回し、英語力の向上に向けた実践的な取り組みを推進します。</p> <p>・英語専科教育を県費で配置している学校については、JTEの配置と重ならないように調整を図ります。</p> <p>・英語教育オンライン授業において、ICT機器を活用し、ネイティブスピーカーとのコミュニケーション活動を取り入れた遠隔授業を全小学校の4年生が2回線、6年生で3対1、中学3年生が3対1で実施し、新学習指導要領で求められている「話すこと」における「やり取り」の力や即興力の向上を図ります。 (事業費)</p> <table border="1"> <tr> <td>・JTE配置費</td> <td>4,415千円</td> </tr> <tr> <td>・ALT配置費</td> <td>14,652千円</td> </tr> <tr> <td>・英語教育オンライン授業費</td> <td>3,793千円</td> </tr> <tr> <td>・英語検定料補助金</td> <td>6,331千円</td> </tr> </table> <p>【成果目標】 ・中学校卒業時に、CEFRレベルA1の生徒 60%以上 (令和3年度59.5%) ・英語(外国語活動)が好きと回答した児童生徒 80%以上 (令和3年度76.9%)</p>	・JTE配置費	4,415千円	・ALT配置費	14,652千円	・英語教育オンライン授業費	3,793千円	・英語検定料補助金	6,331千円	<p>分野:学校教育 基本方針:子どもの生きる力を育む教育の推進 施策:確かな学力の育成</p>	<p>①未来を担う子ども育成プロジェクト</p>
・JTE配置費	4,415千円											
・ALT配置費	14,652千円											
・英語教育オンライン授業費	3,793千円											
・英語検定料補助金	6,331千円											
<p>8 <教職員の専門性・指導力の向上> 小中学校では学習指導要領の実施や、GIGAスクール構想の実現に向けた一人一台のタブレット端末を活用した授業、いじめや不登校をはじめとする教育の今日的課題等、様々な課題や変化に対応することが求められており、研修等を通じて、教員としてさらなる専門性を高める必要があります。</p>	<p>⑧ 学校教育の水準向上をめざし、専門性・指導力の向上を図る研修や支援を行います。</p>	<p>⑧ 【取組】 教職員の専門性や指導力の向上を図るため教職員対象に様々な教育課題について研修講座を実施します。 (事業費) 講座開設費 191千円</p> <p>【成果目標】 研修参加者アンケートの満足度 95%</p> <p>⑨ 【取組】 対象教員に対して、スキルアップアドバイザーが授業づくりや学級づくりに等に関する個別指導を行います。 (事業費) スキルアップアドバイザー配置費 11,197千円</p> <p>【成果目標】 対象者アンケートの肯定的評価 93%</p>	<p>分野:学校教育 基本方針:学校の教育力の向上 施策:教職員の指導力向上</p>									
<p>9 <学校教育の支援体制の充実> 学校に対して保護者や地域住民等から様々な要望があり、対応に苦慮する教職員が増加しています。適切に対応するにはスクールローヤー等による法的な裏付けや福祉等の専門的な視点を踏まえ、適切に対応することが求められています。</p> <p>また、児童生徒の問題行動もいじめや不登校、自傷行為等多様化しており、効果的な対応と未然防止を図るには教育的な視点だけでなく、社会福祉や精神保健福祉等の専門的な視点を踏まえたスクールソーシャルワークが必要となっています。</p>	<p>⑨ スーパーバイザー(弁護士、社会福祉士、精神保健福祉士)から法的な視点や福祉的な視点を取り入れた専門的な指導助言を受け、適切に対応することで、学校が抱える問題の早期解決につなげます。</p>	<p>⑩ 【取組】 学校だけでは対応しきれないケースへ対応するために、スーパーバイザーを招聘した学校問題サポートチーム会議を開き、専門的な視点を取り入れた指導または助言を行います。 (事業費) 学校問題サポートチーム運営費 1,988千円</p> <p>【成果目標】 課題改善率 90%</p>	<p>分野:学校教育 基本方針:学校の教育力の向上 施策:学校経営の充実</p>									

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R4 主な事業
<p>10 <配慮を要する子どもへの支援体制の充実> 近年、著しく増加している不登校をはじめとする学校不適応行動について、早期に対応し問題解決をする必要があります。 また、新型コロナウイルス感染症に関する臨時休校措置やニューノーマルと呼ばれる生活に伴い、生活リズムを崩したり、人との接触やコミュニケーションに不安が高まったりして、不登校児童生徒が増大することが懸念されています。 不登校の要因は、学校、家庭、地域社会など子どもを取り巻く様々な環境が影響しています。子どもや保護者のみで問題解決を図ることが難しく、状況を改善に向けて学校や関係機関が連携して支援をする必要があります。</p>	<p>⑩ やまびこ教育相談室において、学校不適応や不登校の状況にある児童生徒や保護者への教育相談や支援を行います。</p>	<p>⑪ 【取組】 ・やまびこ教育相談室において、学校不適応や不登校傾向のある児童生徒や保護者への教育相談を電話および面談を通して行います。 ・適応指導教室では、学校不適応や不登校傾向のある児童生徒が小集団での活動を通して、集団の中で過ごす力を高め、学校復帰や社会的自立につながるよう支援します。 (事業費) ・教育研究所指導員配置費 6,267千円 ・やまびこ教育相談室運営費 6,853千円</p> <p>【成果目標】 不登校児童生徒の状況改善率 80%</p>	<p>分野: 学校教育 基本方針: 学校の教育力の向上 施策: 学校経営の充実</p>	
<p>11 <学校等の施設・設備の整備> ・小中学校施設は建築後相当の年数が経過しており老朽化が著しい状態です。また、グラウンド等の屋外施設や受電設備等の付帯設備についても、未改修の学校が多く、老朽対策工事を進める必要があります。 ・学校施設の構造体に係る耐震化は完了していますが、構造体以外の天井や窓、備品等(非構造部材)の耐震化が完了しておらず、これらの耐震対策を進める必要があります。</p>	<p>⑪ ・学校施設の安全性の確保と教育環境の改善を図るため、老朽化が進む小中学校施設等の改修とバリアフリー対応の工事・設計を行います。 ・地震に対する学校施設の安全性を確保するため、小中学校校舎の非構造部材について耐震工事をを行います。</p>	<p>⑫ 【取組】 建築後相当年数経過した校舎等の学校施設の改修を計画的に実施するとともに、バリアフリー対応の工事・設計を行います。 <令和4年度当初予算> (事業費)12,709千円 ・志津南小学校体育館トイレ改修工事修正設計業務(449千円) ・南笠東小学校トイレ改修工事実施設計業務(3,185千円) ・新堂中学校グラウンド改修工事実施設計業務(9,075千円) <令和3年度予算明許繰越> (事業費)546,431千円 ・志津南小学校大規模改修2期工事(312,722千円) ・志津南小学校大規模改修2期工事監理業務(6,914千円) ・松原中学校トイレ改修工事(90,119千円) ・松原中学校トイレ改修工事監理業務(4,579千円) ・新堂中学校体育館トイレ改修工事(27,827千円) ・新堂中学校体育館トイレ改修工事監理業務(3,411千円) ・笠縫東小学校グラウンド改修工事(97,009千円) ・笠縫東小学校グラウンド改修工事監理業務(3,850千円)</p> <p>【成果目標】 各工事、実施設計の完了</p> <p>⑬ 【取組】 小中学校の非構造部材の耐震対策工事、調査点検実施設計業務を行います。 <令和4年度当初予算> (事業費)2,873千円 ・松原中学校非構造部材改修1期工事実施設計業務(2,873千円) <令和3年度予算明許繰越> (事業費)19,097千円 ・山田小学校非構造部材改修2期工事(17,122千円) ・山田小学校非構造部材改修2期工事監理業務(1,975千円)</p> <p>【成果目標】 校舎の非構造部材の耐震化実施校率(累計)70% (令和3年度:67.5%)</p>	<p>分野: 学校教育 基本方針: 学校の教育力の向上 施策: 教育環境の充実</p>	<p>①未来を担う子ども育成プロジェクト</p>
<p>12 <地域協働校の推進> 平成10年から全国に先駆けて地域協働校に取り組んできましたが、社会に開かれた教育課程の実現や学校を核とした地域づくりが求められ、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進が課題となっている今、時代に即した事業の見直しを行い、より地域と連携して、持続可能な社会の担い手としての資質・能力を子どもたちが身につけられるような活動に変えていく必要があります。</p>	<p>⑫ 「スクールESDくさつ」プロジェクトにおいて、子どもたちが環境、健康、福祉、人権、産業、歴史・文化など様々な地域課題に主体的にかかわり、体験的な学びを通して地域とともに成長できる地域協働校を展開し、学校・家庭・地域の連携を深めながら、大人と子どもが学び合う地域学習社会づくりを進めます。</p>	<p>⑭ 【取組】 従来から小学校全校に配置している地域コーディネーターに加え、「スクールESDくさつ」プロジェクトモデル校3校のうちの中学校1校にも地域コーディネーターを配置して、学校と地域の連携による地域課題解決型の体験学習を実施します。(モデル校は年3回以上 その他の学校は年1回以上) (事業費) 地域協働校推進費 8,005千円</p> <p>【成果目標】 地域協働校の推進に満足している市民の割合 22.0% (令和3年度実績 16.9%)</p>	<p>分野: 生涯学習・スポーツ 基本方針: 生涯学習の推進 施策: 家庭・地域での学びの充実</p>	

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R4 主な事業
<p>13 <市民に役立つ図書館運営の充実> ・令和2年3月に策定しました『草津市の図書館運営計画(2020-2024)後期運営計画』の計画期間3年目にあたります。 ・今後取り組むべき主な課題として、 ●地域の情報の拠点として、まちづくり、地域づくり、すべての市民に役立つ図書館となるよう、すべての人がいきいき暮らせるための情報提供の充実を図る必要があります。 ●市内各地域の特徴(人口構造)にあわせた全域サービスを行う必要があります。 ●前期の主な事業の成果を維持しつつ、より充実した図書館サービスを行う必要があります。 ・図書館は、地域住民の図書館利用の権利、知る権利・読む自由の保障や民主主義の実現にとって基礎的な施設であることを自覚し、改めて、地域住民への資料・情報提供を基礎としたサービスの展開を柱にその役割を果たすと共に、目まぐるしい社会環境の変化に対応しながら、「市民のための図書館」としてその機能の充実を図る必要があります。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、図書館サービスの維持に努めます。</p>	<p>13 <図書館サービスの質を高める> ・日々の生活に潤いを与え、心豊かな人づくりに役立つ図書館 ……A, B, C, G, J ・地域の情報拠点として、まちづくり、地域づくり、すべての市民に役立つ図書館……D, E ・未来を担う子どもの育成を推進し、子どもの成長に役立つ図書館……F, H, I ・草津の歴史文化を未来に伝える図書館……E <図書館運営の充実を図る> ・図書館資料の充実 ・図書館の環境整備 ・図書館職員の人材育成</p>	<p>15 【取組】 A. 市民の興味関心に応え、くらしの中での課題解決や主体的な学習を支援する情報提供やレファレンスサービスのレベルアップを図ります。「司書の一箱選書」やブックリストの実施 B. 市民のライフスタイルや読書要求に対応した図書館サービスの構築に努めます。 移動図書館による全域サービスの充実 ステーション数 27か所 C. 多くの市民に図書館を利用していただくための広報活動の強化に努めます。 Instagramによる情報発信 D. 地域活動の場として、図書館活用の促進に努めます。 市民協働による事業(図書館まつり)の開催等 E. すべての市民がいきいき暮らせるためのサービスの充実を図ります。 子ども食堂や子どもの居場所づくり事業(Tudo Toko、よって子ミナクサ)への読書活動支援 F. 未来を担う子どもの育成を推進するため、年齢・対象別事業の充実を図ります。 乳幼児向けおはなし会、野外おはなし会、えほんのひろばの開催 ヤングアダルト(中高生)を対象としたホームページの充実 G. 図書館周年記念事業を開催します。 令和4年度 南草津図書館開館20周年 記念講演会の開催(ヤングアダルト(中高生)向け) 児童コーナーのリニューアル 周年記念デザイン作成コンテストの開催 令和5年度 草津市立図書館開館40周年 H. 市立図書館の持つ専門性や経験を活かした学校教育活動の支援を行います。 巡回図書「ブックん」や学校へ出張ブックトークの実施 I. 学校図書館充実のための支援 学校司書と連絡会の検討 J. 図書館の環境整備 ・フェリエ南草津健康増進施設他空調設備改修工事実施設計の実施 【成果目標】 アンケート実施による利用者満足度 80.0%(令和3年度 78.3%)</p>	<p>分野:生涯学習・スポーツ 基本方針:生涯学習の推進 施策:生涯学習機会の充実</p>	<p>①未来を担う子ども育成プロジェクト</p>
<p>14 <市民の生涯スポーツ活動の支援> 「する みる 支える 知る」“ALLくさつ”でつなぐ健幸スポーツのまち」を基本理念とした第2期草津市スポーツ推進計画(令和3年度～令和7年度)に基づき、さらなるスポーツの推進に取り組む必要があります。</p>	<p>14 誰もが気軽に参加し楽しめる、民間事業者主体のランニングイベント「健幸都市くさつランフェスティバル」への支援を通じ、官民連携による生涯スポーツの推進に取り組みます。</p>	<p>16 【取組】 健幸都市くさつランフェスティバルの開催に向け支援を行います。(事業費) くさつランフェスティバル開催費補助金 2,000千円 【成果目標】 くさつランフェスティバルの開催(令和3年度は次年度に延期)</p>	<p>分野:生涯学習・スポーツ 基本方針:スポーツの充実 施策:スポーツ活動の推進</p>	<p>②地域の支え合い推進プロジェクト</p>
<p>15 <社会体育施設の整備・充実> 社会体育施設等の整備や適正な維持管理を行うことで、誰もが快適にスポーツができる環境整備をする必要があります。</p>	<p>15 総合体育館は、昭和56年9月に供用を開始してから約40年が経過し、施設の老朽化のため雨漏りが発生していることから、雨漏りを解消するため、屋根の抜本的な改修工事を実施し、市民のスポーツ環境を整えます。また、第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の開催に向け、アリーナ床板の修繕および研磨を実施します。</p>	<p>17 【取組】 屋根の雨漏りについて抜本的な改修工事を実施し、アリーナ床板の修繕および研磨等を実施します。また、関係団体との調整を図るとともに、工事中の代替運動施設の開設をすることで、可能な範囲でスポーツの機会を確保します。(事業費) ・屋根・床板改修工事費 192,802千円 ・工事監理費 6,284千円 ・減収補填および代替運動施設開設運営費 9,412千円 【成果目標】 雨漏りの解消、アリーナの床板改修および研磨</p>	<p>分野:生涯学習・スポーツ 基本方針:スポーツの充実 施策:スポーツ環境の充実</p>	<p>②地域の支え合い推進プロジェクト</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R4 主な事業
<p>16 <第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の推進> 令和7年(2025年)に滋賀県で開催予定の第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会は、本市においても水泳、バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、軟式野球など、多くの競技の開催を予定していることから、昨年度設立しました推進組織である第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会を中心に、計画的かつ効率的な準備業務を進める必要があります。 また、コロナ禍以降の大規模大会として、今後の先催事例等を参考にし、適切な大会運営を検討していく必要があります。</p>	<p>16 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会を中心に、関係機関・団体が連携して準備を進めることで、さらなるスポーツ健康づくりの推進や交流人口の増加による地域の活性化につなげます。</p>	<p>18 【取組】 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会の総会や専門委員会等を開催し、各種計画の策定等を進めます。 (事業費) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会負担金 2,392千円</p> <p>【成果目標】 総会や専門委員会を開催し、大会開催推進総合計画を策定するとともに、広報や競技運営、輸送交通等の各種基本計画を検討します。</p> <p>19 【取組】 円滑な大会運営を図るため、駐車場不足に対応する臨時駐車場の整備に向けた実施設計業務に取り組みます。 (事業費) 競技施設周辺駐車場実施設計費 21,340千円</p> <p>【成果目標】 競技施設周辺駐車場の実施設計を行います。</p>	<p>分野:生涯学習・スポーツ 基本方針:スポーツの充実 施策:第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の推進</p>	<p>②地域の支え合い推進プロジェクト</p>
<p>17 <文化・芸術の振興> 国では、文化を観光やまちづくりなど各分野に活用しようと、平成29年6月に「文化芸術基本法」を施行され、平成30年3月に「文化芸術推進基本計画」(第1期)が閣議決定されました。 本市においても、平成29年7月に草津市文化振興条例を施行するとともに、平成30年3月に草津市文化振興計画を策定し、草津らしい文化の創造と発展を目指すための基本方向等を定めました。 コロナ禍により、文化・芸術を享受する機会が少なくなっており、市民が安心して文化・芸術に触れることができるよう文化政策を進めていく必要があります。</p>	<p>17 文化振興計画に基づいて、誰もが等しく文化に触れられる市民文化政策と、個性ある文化により都市の魅力を高める都市文化政策の推進を図り、“出会い”と“交流”に満ちた活力ある文化を創造し、発展させます。</p>	<p>20 【取組】 草津市文化振興計画に基づく文化振興プログラムを実施し、多様な主体と連携しながら、より一層文化・芸術活動の推進を図ります。 (事業費) 文化振興プログラム推進費 4,509千円 ・草津市文化振興審議会開催 ・アートフェスタくさつ開催 ・草津シネマ塾開催</p> <p>【成果目標】 文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合 21.6% (令和3年度実績 21.8%)</p>	<p>分野:歴史・文化 基本方針:文化・芸術の振興 施策:文化・芸術活動の推進</p>	
<p>18 <文化財の調査・保存と活用の促進> 建造物・美術品・民俗芸能など市内の文化財の多くは、指定・未指定にかかわらず個人や寺社、地域団体などが保存継承しています。 そのようななか、社会構造の変化とともに住民の地域への関心が希薄化し、これらを守ってきた組織(檀家・氏子等)の活力が失われ、同時に文化財の保存継承が困難になりつつあります。 そこで、本来、住民が地域への関心や誇り持つ要因となる文化財について、基盤となる史跡等が整備されるとともに、再び住民が文化財に注目し、地域ぐるみで「文化財の活用」と「地域の活性化」が同時に実現されることが望まれます。</p>	<p>18 ・本市の歴史的特色を表す国指定史跡を永く伝え残し、多様な活用の機会を作り出すための整備を行います。 ・地域住民が地域に伝え残された歴史文化に関心を持つ契機となる事業を行い、また活動を支援します。</p>	<p>21 【取組】 ・史跡芦浦観音寺跡について、令和3年度に実施した基本設計等により植栽整備等の実施設計を行うとともに、史跡整備に必要な仮設道路の整備に着手します。 ・史跡草津宿本陣について、令和3年度策定の整備基本計画に基づき、東地区の整備に係る基本設計を作成するとともに耐震に係る実施設計を実施します。 ・文化財保存活用地域計画に基づき、歴史文化の価値や魅力を広く市民等に伝えるため、文化財の保存・活用への基盤づくりに向けた啓発事業を実施します。 (事業費) ・史跡芦浦観音寺跡整備実施設計 14,505千円 ・史跡芦浦観音寺跡仮設道路整備工事 29,807千円 ・史跡草津宿本陣整備基本設計 11,638千円 ・史跡草津宿本陣整備実施設計 6,600千円 ・文化財普及啓発 861千円</p> <p>【成果目標】 ・史跡芦浦観音寺跡整備実施設計および仮設道路整備工事の完了 ・史跡草津宿本陣整備基本、実施設計の完了 ・文化財の保存・活用啓発活動の件数 20件(令和3年度17件)</p>	<p>分野:歴史・文化 基本方針:文化財の保存と活用 施策:文化財の調査と保護の推進 施策:歴史資産を活かしたまちづくり</p>	<p>③にぎわい・再生プロジェクト</p>
<p>19 <歴史文化に親しむ機会の創出> 草津の歴史文化の特色である草津宿や街道文化に対する関心を高め、ひとりでも多くの人につながる草津に愛着を持ってもらえる取組が必要です。 そうしたなかで、これまでの見学や参加型の事業展開に加え、SNSをはじめとするさまざまな情報発信ツールによる、草津宿や街道文化の魅力発信の必要性が求められています。</p>	<p>19 草津宿街道交流館や史跡草津宿本陣での展示や講座など施設内での取組とともに、両館のホームページやフェイスブック、ツイッター、また、啓発情報誌、メディアなども積極的に活用し、草津宿本陣をはじめとする草津宿や街道文化の魅力発信に取り組んでいきます。</p>	<p>22 【取組】 館のホームページやフェイスブック、ツイッターに草津宿本陣や草津宿街道交流館の事業内容や、所蔵する歴史資料などの紹介を掲載し、えふえむ草津の番組や関係団体などの情報誌へ草津宿の魅力紹介などを行うことで、コロナ禍においても、草津宿の歴史や街道文化に纏わる話題などを積極的に発信していきます。</p> <p>【成果目標】 情報発信件数 年間500件以上(令和3年度 458件)</p>	<p>分野:歴史・文化 基本方針:文化財の保存と活用 施策:歴史文化に親しむ機会の創出</p>	

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R4 主な事業
<p>20 <学校における新型コロナウイルス感染症の対策> 新型コロナウイルス感染症拡大の終息が見えない中、学校における感染拡大を抑制し、学校教育活動の円滑な運営と、教職員の負担軽減を図る必要があります。</p>	<p>21 学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するとともに、教職員の負担軽減を図ります。</p>	<p>23 【取組】 ・国の学校保健特別対策事業費補助金を活用し、保健衛生用品等の購入や家庭における学習教材を購入します。 ・児童生徒が安心して過ごせるよう、学校における感染症対策のため学校衛生管理サポーターを配置します。 (事業費) <令和3年度予算明許繰越> 学校等における感染症対策等支援事業費 32,850千円 <令和4年度当初予算> 学校衛生管理サポーター配置費 5,761千円</p> <p>【成果目標】 ・保健衛生用品等の購入により、感染症対策のさらなる強化を図ります。 ・家庭における効果的な学習のための教材の購入により、児童生徒の学びを保障する体制を整備します。 ・学校衛生管理サポーターを配置します。(各小中学校1名)(令和3年度 全20校に配置)</p>		<p>⑥新型コロナウイルス感染症対策関連予算</p>